

Sunshine 第16回 Lessons

Lesson 16-1: 一般動詞の過去形 肯定文

ここでは「私たちはサッカーをしました」「彼は昨日働きました」など『一般動詞の過去形の肯定文』について学びます。基本的な形は、一般動詞の現在形の肯定文と同じなのですが、違いは

一般動詞を過去形にする

というところです。過去形の場合、主語に関係なく同じ過去形を使います。つまり、一般動詞の過去形の肯定文の基本の形は以下の通りとなります。

【一般動詞の過去形 肯定文：基本の形】

主語 + 一般動詞の過去形 (+目的語) (+～) .
(「主語」は「動詞」をしました)

そして、一般動詞を過去形にする方法は、大きく分けると2のパターンがあります(ただし、今回はパターン1だけを練習し、次回パターン2を練習します)。

【一般動詞を過去形にする方法】

<パターン1: 一般的な動詞(今回練習) = 一般動詞の最後を ed の形にする>

1. **ed を足す場合** = 多くの一般動詞 (単語の最後が「子音+y」の場合、**y→i** にして ed)

<例> We **played** soccer. (私たちは、サッカーを**しました**)

He **studied** English with me. (彼は、私と英語を勉強**しました**)

*study は、最後が「子音+y」なので、**studied** となる。

2. **d を足す場合** = 一般動詞の最後が e で終わる

<例> She **liked** her new office. (彼女は、彼女の新しいオフィスが**好きでした**)

They **used** this room. (彼らは、この部屋を**使いました**)

<パターン2: 不規則動詞(次回練習) = 動詞が持っている独自の過去形の形にする>

一般動詞の最後を ed の形にするのではないので難しい。

<例> I **ate** a hamburger yesterday. (昨日、私はハンバーガーを**食べました**)

*食べた = ate (eated = ✕)

He **came** to our office. (彼は、私たちのオフィスに**来ました**)

*来た = came (comed = ✕)

【一般動詞の過去形の肯定文：作り方】

1. 現在形の肯定文を作る。
2. 動詞を過去形に変える。

<例1：私たちはサッカーをしました>

ステップ1：現在形の肯定文を作る。 → 私たちはサッカーをします。

We play soccer.

ステップ2：動詞を過去形に変える。

We played soccer.

<例2：彼は私と英語を勉強しました>

ステップ1：現在形の肯定文を作る。 → 彼は私と英語を勉強します。

He studies English with me.

ステップ2：動詞を過去形に変える。

He studied English with me.

【ポイント！】

1. want to ~ (～したい) の過去形

want to ~で「～したい (例：I want to run. = 私は走りたい)」だが、「～したかった」のように、**want to ~** を過去形にする場合、**want** だけを過去形にし、**to** の後の動詞は過去形にしないので注意。

<例> She **wanted** to use this. (彼女はこれを 使いたいと思っていました)
《She wanted to used this. =×》

2. like ~ing の過去形

「～するのが好きだった」といった、**like ~ing** を過去形にする場合、**like** だけを過去形にし、**~ing** はそのままとなるので注意。

<例> We **liked** playing soccer. (私たちはサッカーをするのが好きでした)
《We liked played soccer. =×》

Lesson 16-2: 不規則動詞

そして、一般動詞の過去形の文をマスターするのに最も大変とされるのが、単語の最後を **ed** にするだけでは、過去形にできない「不規則動詞」を覚えることです。もうすでに練習で登場している動詞の中にも不規則動詞はたくさん含まれています。例えば以下の動詞は不規則動詞となります。

意味	原形	過去形
食べる	eat	ate
行く	go	went
する	do	did
書く	write	wrote
持っている	have	had
手に入れる	¹ get	got
見つける	find	found
持ってくる	bring	brought
読む	read	² read

意味	原形	過去形
作る	make	made
走る	run	ran
買う	buy	bought
見る	see	saw
来る	come	came
泳ぐ	swim	swam
言う	say	said
置く	put	put
勝つ / (クジなどに) 当たる	win	won

1. get up などの句動詞を過去形にする場合は、got up と一般動詞を過去形にする。
2. read の過去形は、read とスペリングは同じだが発音は red (赤) と同じ「レッド」となる。

<例> I ate three hamburgers. (私はハンバーガーを3つ食べました)
 They bought this computer. (彼らがこのパソコンを買いました)
 *After the meeting, he went to the station by bus. (会議の後で、彼はバスで駅に行きました)

*after / before は、After ~, / Before ~, という形で文頭に置くこともできる。

不規則動詞の覚え方ですが・・・

残念ながら基本的には暗記するしかありません (泣)

ただし、不規則動詞の中には、同じように変化するものも (例えば、buy の過去形のように語尾が ought になる過去形や、原形と形が変わらない動詞など) ありますので、種類に分けて覚えるのは一つの方法かもしれません (参考程度に解答集の最後に中学でよく登場する不規則動詞のリストを載せておきますね)。

Lesson 16-3: 様々なフレーズ⑱

1. have a ~ = ~ をお過ごしください

<例> Have a great weekend. <素晴らしい週末をお過ごしください>

[補足説明]

Have a good day. / Have a great time. など、分かれの挨拶などによく使われる。また、Have a good time の後には、at the party (パーティーで) / at the concert (コンサートで) といったフレーズもよく足される。

<例> Have a good time at the party. (パーティーで良い時間をお過ごしください)

2. stay home = 家にいる / 家にとどまる

<例> I want to stay home. <私は家にいたいです>

[補足説明]

stay は「とどまる / 居残る」という意味の動詞。home は「家に」という副詞として使われている。stay home の代わりに stay at home というフレーズもよく使われる (stay at home の方が、at が入っているため「仕事場ではなく、家にいて!」というように、家という場所を強調する際に使われる場合もある)。

また、stay は、stay here (ここに残る) や stay in your room (あなたの部屋にとどまる) など、よく登場する動詞なのでしっかり覚えておく。

3. last ~ = 前回の ~ / 先 ~

<例> We saw her last night. <私たちは、昨夜彼女を見ました>

[補足説明]

every ~ 同様、last ~ にも基本的に前置詞がつかない。また「前回の~」を強調したい場合は、Last ~, と文頭で使うこともできる (この際、カンマは省略されることもある)。

<例> 私は先週あの本を買いました。

I bought that book last week. (I bought that book in last week. = ×)

Last week, I bought that book.

4. couch potato = 怠け者 (ソファの上に寝転がり、テレビを見たりしてダラダラ過ごす人)

<例> He is a couch potato. <彼は怠け者です>

[補足説明]

couch は「ソファ / カウチ」、potato は「ジャガイモ」という意味。そのため、couch potato は「ソファの上に転がっているジャガイモ」。つまり「ソファの上に寝転がり、テレビを見たりしてダラダラ過ごす人」という意味となる。

5. too ~ = ~すぎる

<例> I am too tired. <私は、疲れすぎています>

Lesson 16-4 : 一般動詞の過去形 否定文

一般動詞の過去形の否定文は、一般動詞の現在形の否定文が理解できていれば簡単です。なぜなら、現在形の do not (don't) や does not (doesn't) のところに、did not (didn't) を足してあげれば完成だからです (一般動詞も原形に戻りますので注意してください)。

【一般動詞の過去形 否定文：基本の形】

主語 + **did not (didn't)** + 一般動詞の原形 + 。

(主語は～しませんでした)

<例> I did not (didn't) go to school yesterday. (私は昨日学校に行きませんでした)

She did not (didn't) watch TV. (彼女はテレビを見ませんでした)

【一般動詞の過去形 否定文：作り方】

ステップ1：一般動詞の過去形の肯定文を作る。

ステップ2：一般動詞の前に **did not (didn't)** を足す。

ステップ3：一般動詞を原形に戻す。

<例1：私は昨日学校に行きませんでした>

ステップ1：一般動詞の過去形の肯定文を作る。 → 「私は昨日学校に行きました」

I went to school yesterday.

ステップ2：一般動詞の前に **did not (didn't)** を足す。

I did not (didn't) went to school yesterday.

ステップ3：一般動詞を原形に戻す。

I did not (didn't) go to school yesterday.

<例2：彼女はテレビを見ませんでした>

ステップ1：一般動詞の過去形の肯定文を作る。 → 「彼女はテレビを見ました」

She watched TV.

ステップ2：一般動詞の前に **did not (didn't)** を足す。

She did not (didn't) watched TV.

ステップ3：一般動詞を原形に戻す。

She did not (didn't) watch TV.

Lesson 16-5: 様々なフレーズ②

1. How ○○! = なんて○○なのでしょう! (○○には形容詞 / 副詞が入る)

<例> Look at that picture. How beautiful! <あの絵を見て。なんて美しいのでしょう>

〔補足説明〕

How ○○! は、感嘆文 (かんたんぶん) と言われ、感動や驚きを表す。感嘆文には、How ○○!の形だけでなく、What △△! の形があり、△△の部分には“(a/an +) (形容詞 +) 名詞”の形が主にはいる。

<例> What a beautiful picture! <なんて美しい絵なのでしょう>

2. too much = 多すぎる / 過度に

<例> I ate too much. I can't move. <私は食べすぎました。動けません>

〔補足説明〕

much は「(不可算名詞の) たくさんの / 多くの」、too は「～すぎる」という意味。形容詞句として使うこともできる。また「少し多すぎる」という場合は、a little too much ということもできる。

<例> I drank too much coffee. <私は、多すぎる量のコーヒーを飲みました>
I ate a little too much. <私は、少し食べすぎました>

3. take a look at ○○ = ○○を少し見てみる / ○○をちょっと見る / ○○を一見する

<例> Can I take a look at it? <少しそれを見てもいいですか>

〔補足説明〕

よく書類やデータなどを「少し見る」「ざっとチェックする」という時に使われる。

4. a country of ○○ = ○○の国

<例> Japan is a country of forests. <日本は、森の国です>

〔補足説明〕

a country の代わりに a city / a town などを使うことができる。

<例> Hamamatsu is a city of music. <浜松は音楽の市です>

5. take a sauna = サウナに入る

<例> Some Finish people take a sauna every day.

<一部のフィンランド人は毎日サウナに入ります>

〔補足説明〕

take a shower / take a bath の代わりに have a shower / have a bath を使うことができるように、take a sauna の代わりに have a sauna を使うこともできる。

<例> Do you take a sauna every day? <あなたは毎日サウナに入るのですか>